

公益財団法人 檜の芽会 御中

令和 7 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		① 作成日	令和 8 年 3 月 26 日
② 法人・団体名	とらいさぽーと		
③ 団体所在地 (都道府県・市町村名まで)	〒569-0805 大阪府高槻市上田辺町 6-23 上田辺薩摩ビル 301 号室		
③ 責任者氏名	三宅 孝子	(役職名等)	代表
④ 担当者氏名	同上	(役職名等)	

【奨学活動の概要】

⑥助成交付決定番号	R07-020	⑦助成金額	30 万円	⑧申請カテゴリー	B
⑨奨学活動名	生きづらさを抱えた児童青年に個別学習や余暇支援を年間を通して行う活動				
⑩主な実施場所名・及びその住所	〒569-0805 大阪府高槻市上田辺町 6-23 上田辺薩摩ビル 301 号室				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

神経発達症支援として、児童青年の発達特性に応じた個別学習や余暇活動を、継続的に実施しました。主に、SST や LST 学習、ヨガやアロマによる体調管理、調理などのレクリエーション活動を、個別ニーズに沿って複数の専門スタッフで取り組みました。助成金を活用し其々の特性や状態に即した支援を定期的に行った結果、彼らは不安症や鬱などの症状を発することなく自信を持って次のステップ（自主通学、進級、就労移行等）へと歩みを進めています。長い信頼関係を通して保護者との連携ができているのも、大きな成果だと捉えています。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A : 人)	平均時間 (B : 時間)	活動量 (A x B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等				
高校生等	36	1.2	43	36 人 = 平均 2 人 / 1 回 × 1 回 / 週 × 2 週 / 月 × 9 ヶ月
大学生等	27	1.2	32	27 人 = 平均 1 人 / 1 回 × 1 回 / 週 × 2 週 / 月 × 9 ヶ月 + 平均 1 人 / 1 回 × 1 回 / 週 × 1 週 / 月 × 9 ヶ月
学習支援員等	72	3	216	72 人 = 平均 2 人 / 1 回 × 2 回 / 週 × 2 週 / 月 × 9 ヶ月
その他	27	1.2	32	27 人 = 平均 1 人 / 1 回 × 1 回 / 週 × 2 週 / 月 × 9 ヶ月 + 平均 1 人 / 1 回 × 1 回 / 週 × 1 週 / 月 × 9 ヶ月
合 計			323	

⑬その他の定量的な数値（任意）

令和 7 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：生きづらさを抱えた児童青年に個別学習や余暇支援を年間を通して行う活動

法人・団体名：とらいさぽーと

作成者 氏名：三宅孝子 代表

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

神経発達症の有る無しにかかわらず、何らかの生きづらさを抱えた児童青年への支援として、専門知識を有する学習支援員によるマンツーマン学習を年間を通じて行いました。

発達特性から生じる様々な課題に対処していくには、一人ひとりに応じた学習・体調管理・余暇活動ができる支援環境が必要です。

「とらいさぽーと」では、主にソーシャルスキルやライフスキル支援、特性理解やセルフコントロール支援など、個々のニーズに沿った学習を実施しました。また、余暇としての調理作業、体調管理支援としてヨガやアロマを定期的の実施しました。

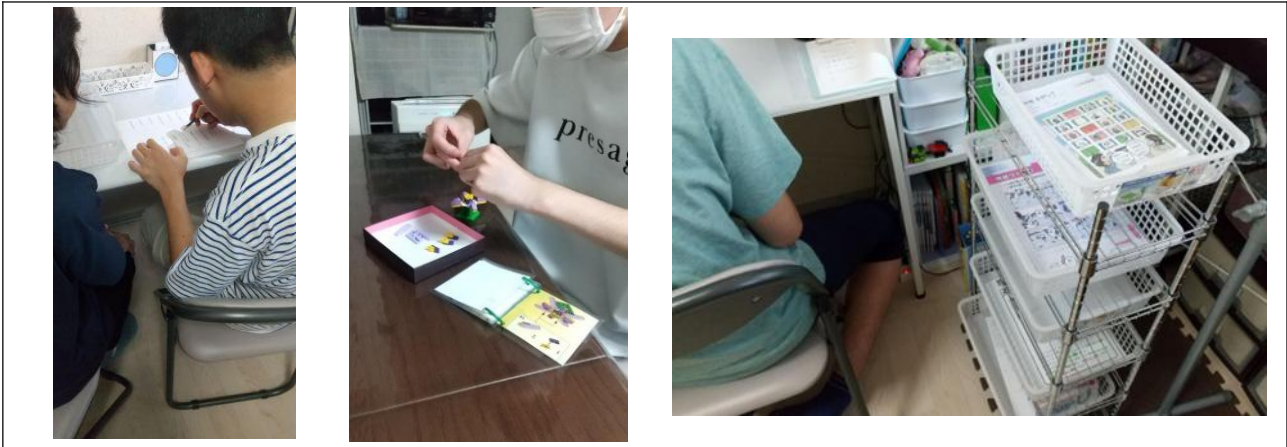
保護者との情報共有は義務教育後の移行先を考えていく上で特に欠かせません。支援について理解共有ができるよう、保護者との信頼関係を築きながら支援活動を行いました。

2. 実施した奨学活動の詳細

日程	活動内容	支援員	学生・他・（保護者）	精細
7 月 1 日	前期（7 月～9 月） 学習支援	2	大（大学生）	SST・LST
7 月 10 日	学習支援・調理余暇	2	高（高校生）・他	SST・LST・チヂミ作り
7 月 15 日	学習支援・調理余暇	2	大	SST・LST・チヂミ作り
7 月 17 日	学習支援・体調管理支援	2	高・他	SST・LST・ヨガアロマ
8 月 5 日	学習支援	2	高	SST・LST
8 月 6 日	保護者面談	1	保（保護者）	支援計画作成
8 月 7 日	学習支援	2	大	SST・LST
8 月 19 日	学習支援・調理余暇	2	高・大	SST・LST・チヂミ
8 月 21 日	学習支援・体調管理支援	2	高・他	SST・LST・ヨガアロマ
8 月 28 日	学習支援・調理余暇		高・他	SST・LST・白玉団子
9 月 4 日	学習支援・調理余暇	2	高	SST・LST・餃子
9 月 11 日	学習支援・調理余暇	1	他	SST・LST・餃子
9 月 16 日	学習支援・調理余暇	2	高・大	SST・LST・餃子・かき氷
9 月 18 日	学習支援・体調管理支援	2	高・他・他	SST・LST・ヨガアロマ
9 月 25 日	学習支援	2	高・大	SST・LST

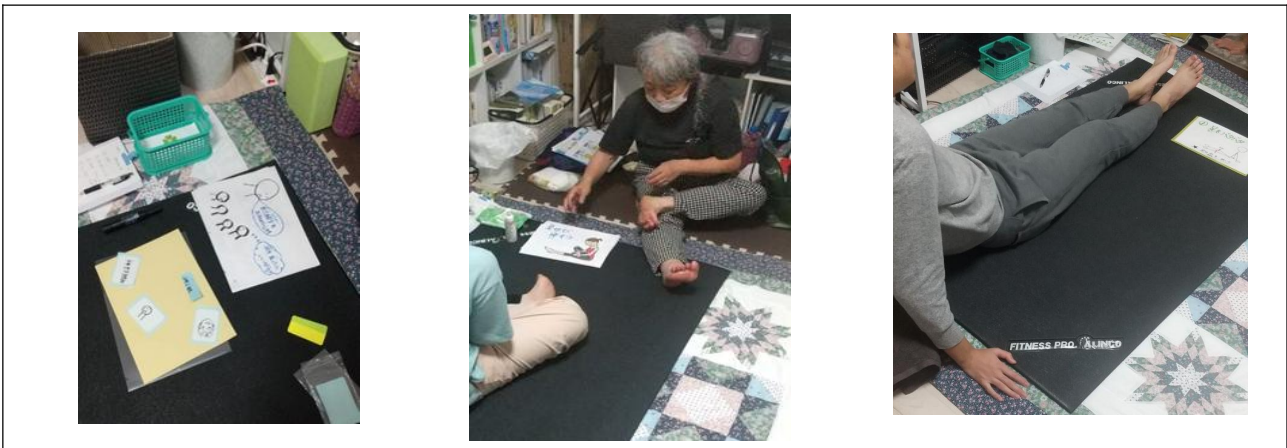
10月2日	後期（10月～3月） 学習支援	2	高	SST・LST
10月9日	学習支援	2	高・大	SST・LST
10月16日	学習支援・体調管理支援	2	高・他	SST・LST・ヨガアロマ
10月21日	学習支援・調理余暇	2	高・大・大	SST・LST・焼きそば
11月6日	学習支援・調理余暇	2	高・大・大	SST・LST・焼きそば
11月7日	学習支援	1	他	SST・LST
11月11日	学習支援	2	高	SST・LST
11月20日	学習支援・調理余暇 体調管理支援	2	高・他 他	SST・LST・焼きそば ヨガアロマ
11月25日	保護者面談	1	保	前期振り返り・後期支援目標
11月27日	学習支援・調理余暇	2	高・大	SST・LST・ハンバーグ
12月4日	学習支援	2	高・大	SST・LST・ハンバーグ
12月5日	学習支援・調理余暇	1	他	SST・LST・ハンバーグ
12月7日	保護者面談	1	保	振り返り
12月11日	学習支援・調理余暇	2	高・大	SST・LST・Xmas
12月18日	学習支援・体調管理支援	2	高・他・他	SST・LST・ヨガアロマ
12月25日	学習支援・調理余暇	2	高・大	SST・LST・Xmas
1月6日	学習支援・調理余暇	2	高	SST・LST・唐揚げ
1月8日	学習支援・調理余暇	2	高・大	SST・LST・唐揚げ
1月9日	学習支援・調理余暇	1	他	SST・LST・唐揚げ
1月15日	学習支援・体調管理支援		高・他・他	SST・LST・ヨガアロマ
1月20日	学習支援		高・大	SST・LST
2月3日	学習支援・調理余暇	2	高・大	SST・LST・バレンタイン菓子
2月5日	学習支援・調理余暇	2	高・大・他	SST・LST・バレンタイン菓子
2月6日	学習支援・調理余暇	2	他	SST・LST・バレンタイン菓子
2月13日	保護者面談	1	保	相談支援
2月17日	学習支援	2	大	SST・LST
2月19日	学習支援・体調管理支援	2	高・他・他	SST・LST・ヨガアロマ
3月3日	学習支援・調理余暇	2	高・大	SST・LST 餃子
3月5日	学習支援・調理余暇	2	高・大・他	SST・LST・餃子
3月6日	学習支援・調理余暇	1	他	SST・LST・餃子
3月17日	学習支援	2	高・大	SST・LST
3月19日 以降	学習支援・体調管理支援 保護者面談予定	2	高・他・他 保4	SST・LST・ヨガアロマ 後期振り返り・次年度支援目標

〈学習支援〉「自立課題」「SST/LST」



子ども一人一人によって、得意なこと、苦手なこと、好き嫌いは様々で、その生徒のプラス面を発揮できるように課題内容を考えました。レゴが好き、図形が得意、組立が早い、計算ができる、話すことが好き、PCが得意など、興味関心からくる強みがあればそれを活用してソーシャルスキルやコミュニケーションスキルのための課題に展開していくようにしました。

〈体調管理支援〉



自分の体の今の状態はどうなのか、不調なところ、バランスの悪いところは？
ヨガやアロマの施術を通して、セルフコントロールための支援を実施しました。

〈調理余暇支援〉



調理は満足感、達成感、自己肯定感に繋がる作業として行いました。どの生徒も毎回積極的に臨みます。

餃子、チヂミ、ハンバーグ、唐揚げなど、手順書を確認しながら作業をして貰いました。

・参加人数

	延べ人数	
学習支援	72 名	高校生等 33・大学生等 24・その他 17
体調管理支援	25 名	高校生等 10・その他 15
調理余暇支援	39 名	高校生等 16・大学生等 13・その他 10

・周知方法と協力関係者について

・地域やボランティア活動との連携

昨年に引き続き、市社会福祉協議会構成会員として加盟

HP ブログにて、7 月樫の芽会助成金事業活動について報告

市公益サポートセンターへ夏季体験学習会のチラシ掲載依頼と配布

以後、とらいさぽーと HP ブログにて活動の様子を定期的に掲載

12 月、市社会福祉協議会職員 1 名見学 音楽レクリエーション活動について

1 月、市特別支援学校教員 2 名見学 ケース会議要件

・学習支援員について

3 名のスタッフのうち、全般的なサポートに当たる支援員は、保護者との面談を通して支援計画・支援目標を作成し、学習支援スタッフ 2 名と実施内容の共有を行い、生徒の支援に当たりました。

学習支援員は個別学習支援（主にソーシャルスキルやコミュニケーションスキル）と体調管理（ヨガ呼吸とアロマ施術）を担うスタッフとで実施しました。

・本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性

家庭や学校の環境の変化、体調の変化等で必要課題が生じることもあるため、「とらいさぽーと」では臨機応変な対応ができるよう、保護者と連絡を取りながら支援活動を進めて参りました。

神経発達症の特性による生きづらさは人によって様々です。

そのため、個々の状態に即した対応を行うよう心がけました。その結果、状態の改善、体力維持、進級、進学、卒業後の見通しなど、その子どもの持つ本来の有りようを否定することなく保護者の皆様と支援共有をしながら歩みを進めることができたと思っています。

しかし現状社会では、個別対応の難しさ、経済的精神的な切迫感、支援側の力量不足、子どもを軸とした支援連携の難しさなど、数々の課題が残ります。その中で、当会のような支援活動がご家庭や社会の現状から優先されることは難しいのかもしれませんが。それでも、特性に寄り添った継続支援を行ってきたことで、子どもたちは着々と次のステージへと向かっています。

伴走型就学・学習支援活動助成事業として、彼らの生き生きとした姿を活動を通して報告できることに、未来の展望を見出しています。